

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	建築デザイン特論(9915)	
科目基礎情報						
科目番号	0002		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	産業システム工学専攻環境都市・建築デザインコース		対象学年	専1		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	適宜配布する。					
担当教員	馬渡 龍					
到達目標						
建築コンペティションの課題に取り組み、指導教員の指導を受けながら応募する。 募集要項に対しプログラムを適切に組み立て、これをもとに設計を行いプレゼンテーションを作成する。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	設計プログラムについて適切に組み立て、高い精度で表現できる。		設計プログラムを組み立て、表現できる。		設計プログラムを組み立て、表現が不十分である。	
評価項目2	プログラムに基づき設計し設計を高い精度で完成できる。		プログラムに基づき設計し、設計を完成できる。		プログラムに基づき設計し、設計を完成できない。	
評価項目3	プレゼンテーションを高い精度で完成できる。		プレゼンテーションを完成できる。		プレゼンテーションを完成できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	本科の建築製図・建築計画・建築史の授業を基礎に本講義では建築作品研究に取り組む。建築には新しい時代を切り開く先鋭的なものがあるいっぽう、時代を超え世に残され評価され続けるものがある。建築における新しさと古さに存在する価値を受講者独自の視点で切り取り、作品分析を行うのが本講義のテーマである。受講者は地域や国内はもちろん海外の建築作品を広く蒐集すること、現代建築の根底に潜む問題意識を掘り起こし、発見したテーマに沿って新旧の建築作品に触れてほしい。					
授業の進め方・方法	建築雑誌・書籍・研究・ネットなどから情報収集を行い、最終的に独自の切り口で建築作品研究を行ってほしい。テーマ設定をするにあたっては、建築分野のみならず建築に影響を与える社会的な背景も必ず見るようにする。成果物の体裁は講義時に指示する。					
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・建築雑誌・書籍・研究・ネットなどから情報収集を行うこと。 ・地域や国内はもちろん海外の建築作品を広く蒐集すること。 ・現代建築の根底に潜む問題意識を掘り起こし、発見したテーマに沿って新旧の建築作品に触れてほしい 					
授業の属性・履修上の区分						
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス (課題概要の説明)	授業の目的や進め方を理解する。		
		2週	調査・課題分析 1	資料収集を行い調査・課題分析を行う。		
		3週	レビュー 1	調査・課題分析のレビューを行う。		
		4週	資料収集・テーマ設定に関するサーヴェイ 1	資料収集を行い、テーマ設定に関するサーヴェイを行う。		
		5週	レビュー 2	資料収集・テーマ設定に関するサーヴェイ 1の結果を説明する。		
		6週	資料収集・テーマ設定に関するサーヴェイ 2	資料収集を行い、テーマ設定に関するサーヴェイをより詳細に行う。 テーマ設定を確定する。		
		7週	レビュー 3	資料収集・テーマ設定に関するサーヴェイ 1の結果を説明する。		
		8週	テーマ設定に基づく作品・情報収集 1	テーマ設定に基づく作品・情報収集を行う。		
	2ndQ	9週	レビュー 4	テーマ設定に基づく作品・情報収集 1を説明する。		
		10週	テーマ設定に基づく作品・情報収集 2	テーマ設定に基づく作品・情報収集をより詳細に行う。		
		11週	レビュー 5	テーマ設定に基づく作品・情報収集 2を説明する。		
		12週	成果作成 1	成果作成のための資料作成する。		
		13週	レビュー 6	成果作成のための資料作成を説明する。		
		14週	成果作成 2	成果物作成に取り組む。		
		15週	ファイナルレビュー	提出。発表会を行う。		
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	設計・製図	製図用具の特性を理解し、使用できる。	5	
				線の描き分け(3種類程度)ができる。	5	
				文字・寸法の記入を理解し、実践できる。	5	
				建築の各種図面の意味を理解し、描けること。	5	
				図面の種類別の各種図の配置を理解している。	5	
図面の尺度・縮尺について理解し、図面の作図に反映できる。	5					

				立体的な発想とその表現(例えば、正投象、単面投象、透視投象などを用い)ができる。	5	
				ソフトウェアを用い、各種建築図面を作成できる。	5	
				各種模型材料(例えば、紙、木、スチレンボードなど)を用い、図面をもとに模型を製作できる。または、BIMなどの3D-CADにより建築モデルを作成できる。	5	
				与えられた条件をもとに、コンセプトがまとめられる。	5	
				与えられた条件をもとに、動線・ゾーニングのエキスができる。	5	
				与えられた条件をもとに、配置図、各階平面図、立面図、断面図などがかける。	5	
				設計した建築物の模型またはパースなどを製作できる。	5	
				講評会等において、コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。	5	
				敷地と周辺地域および景観などに配慮し、配置、意匠を検討できる。	5	
				建築の構成要素(形と空間の構成)について説明できる。	5	
				建築における形態(ものの形)について説明できる。	5	
分野横断的能力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	工学的な課題を論理的・合理的な方法で明確化できる。	5	
				公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。	5	
				要求に適合したシステム、構成要素、工程等の設計に取り組むことができる。	5	
				課題や要求に対する設計解を提示するための一連のプロセス(課題認識・構想・設計・製作・評価など)を実践できる。	5	
				提案する設計解が要求を満たすものであるか評価しなければならないことを把握している。	5	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	30	0	0	70	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	10	0	10
専門的能力	0	10	0	0	20	0	30
分野横断的能力	0	20	0	0	40	0	60